

公開シンポジウム - 令和6年度成果報告 -

日時 2025年2月6日(木) 10:00~17:30

開催形式 オンライン開催 (Zoom Webinar) 無料 (事前登録制)

申し込み 参加登録フォームよりお申し込みください

URL https://form2.jst.go.jp/s/prestoqs_2024_sympo
定員に達しましたら締め切りますので、お早めにご登録下さい。



問い合わせ先 prestoqs@jst.go.jp

領域概要

科学技術振興機構 (JST) では、2019年度に戦略的創造研究推進事業さきがけ「革新的な量子情報処理技術基盤の創出」(略称「量子情報処理」)の研究領域を発足いたしました。本領域では、革新的な情報処理手法の研究開発を進め、社会実装可能な量子コンピューティングを実現するための技術基盤を作り上げることを目指しています。

本研究成果報告会では、令和6年度に研究終了を迎える10名が JST さきがけ事業で進めてきた最新の研究成果をご紹介します。量子コンピューティングにご興味をお持ちの大学・公的研究機関の方はもちろんのこと、企業の皆様のご参加をお待ちしております。

研究領域 HP https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/bunya2019-6.html

プログラム

※プログラムは変更される場合があります

開始 終了

- | | | |
|---------------|----------------------|---|
| 10:00 ▶ 10:10 | 富田 章久 (北海道大学) 研究総括 | 開会挨拶・領域の紹介 |
| 10:10 ▶ 10:40 | 遠藤 傑 (日本電信電話 (株)) | 量子エラー抑制の基礎理論の構築および実的手法の提案 |
| 10:40 ▶ 11:10 | 吉岡 信行 (東京大学) | 量子並列回路を用いた計算基盤の構築 |
| 11:10 ▶ 11:40 | 上西 慧理子 (慶應義塾大学) | 開放系における変分量子アルゴリズムの解析と開発 |
| 11:40 ▶ 13:00 | 休憩 | |
| 13:00 ▶ 13:30 | 根来 誠 (大阪大学) 領域アドバイザー | 基調講演：量子の状態制御と機能化において私がさきがけようとしていたこと～量子機械学習の実装と大規模制御装置の開発～ |
| 13:30 ▶ 14:00 | 渡部 昌平 (芝浦工業大学) | 虚時間量子ツールボックスの開発 |
| 14:00 ▶ 14:30 | 秋笛 清石 (日本電信電話 (株)) | 高機能量子通信プロトコルにおける量子操作の分散効率化と評価 |
| 14:30 ▶ 14:40 | 休憩 | |
| 14:40 ▶ 15:10 | 山本 大輔 (日本大学) | 人工量子系における量子状態同定および量子もつれの定量化法の開発 |
| 15:10 ▶ 15:40 | 池田 達彦 (理化学研究所) | 多体波動関数物性の量子シミュレーション |
| 15:40 ▶ 15:50 | 休憩 | |
| 15:50 ▶ 16:20 | 大戸 達彦 (名古屋大学) | 第一原理計算と量子アルゴリズムをつなぐ多階層計算手法の開発 |
| 16:20 ▶ 16:50 | 伊藤 悦子 (京都大学) | 符号問題が生じる場の理論の古典量子計算法の開発 |
| 16:50 ▶ 17:20 | 本多 正純 (理化学研究所) | 初期宇宙解明に向けた量子アルゴリズム開発基盤の創成 |
| 17:20 ▶ 17:30 | 富田 章久 (北海道大学) 研究総括 | さきがけを超えて・閉会挨拶 |